



LETTERS

2023年 夏号

公益財団法人
佐倉国際交流基金

〒285-0025

佐倉市鍋木町 198 番地 2

TEL・FAX 043-484-6326

佐倉に住む外国人にインタビュー「 どうしてアフガニスタンから日本へ? 」

私はアフガニスタン出身のハビブラ・アフマディ(ニックネーム: ハビビ)です。アフガニスタンのカブールに生まれ教育を受けました。私の兄とその妻と娘、三番目の妹、叔父とその家族が佐倉市に住んでいます。母語はダリー語(ペルシャ語)です。



افغانستان



Q Why did you come to Japan ?

I never had a plan/thought of living in beautiful Japan, but sometimes I was thinking and hoping that maybe someday I visit beautiful Japan for temporary time, because my brother and my uncle are living in Japan. Coming to Japan, it happened so suddenly in unexpected way. When I got the chance to come to Japan, it was very difficult decision for me, to leave my parents, family members, friends and my mother land (Afghanistan) As I knew little well about Beautiful Japan, great people of Japan and great culture of Japan etc...Then I decided to come to Japan for having a bright future, because here I can have the opportunities.

Q What do you do here ?

I joined the family business. My brother and my uncle are in business of exporting used cars and repairing cars. As I studied mechanical engineering in India (2013-2018), and having one year experience as mechanical engineer (2020-2021) in one dairy and juice company in Afghanistan, therefore I work as a mechanic. Usually my main work is changing cars to its parts (separation of car's parts from the bodies), cutting cars little fixing and reinstalling of the car's part. Recently, I registered to a Japanese language school near Chiba station. I am an assistant in a kid's robot class and an English class in Yachimata. And sometimes I do some small social services for friends and people.

Life in Japan

I really love beautiful Japan. Anywhere I go, I feel unlimited beauties, respect, value, kindness, and love. I get a lot of energy. In everywhere we are, life is always full of ups and downs. We should enjoy our life with its ups and downs, in fact these ups and downs make the life more wonderful and interesting. And it reminds us what is the meaning of life.

どうして日本に来たのですか？

私には美しい日本に住むという計画や考えはありませんでした。しかし、兄と叔父が日本に住んでいるので、いつか一時的に美しい日本を訪れるかもしれないと、時々考えたり願ったりしていました。日本に来ることは予期せぬ形で突然起こりました。当時は美しい日本、日本の偉大な人々、日本の素晴らしい文化などについてほとんど知りませんでした。日本に来る機会を得たとき、両親、家族、友人、そして祖国(アフガニスタン)を離れることは私にとって非常に難しい決断でした。しかし、自分の目標、夢、ビジョンを達成する機会が得られることを信じ、明るい未来を求めて日本に行くことを決意しました。

日本はでどんな生活をしているのですか？

兄と叔父は中古車の輸出と車の修理の仕事をしており、私はその家業に加わりました。私はインドで機械工学を学び(2013~2018年)、アフガニスタンの乳製品会社とジュース会社で機械エンジニアとして1年間(2020年~2021年)経験を積みました。現在日本では、整備士として車の修理、部品の交換などの仕事をしています。プライベートでは、ここ数カ月、私は日本語を学ぶために日本語学校に行きました。八街市の日本の子供向けロボット教室でアシスタントをしています。私は友人や人々のためにいくつかのボランティア活動を行っています。

日本の生活について

私は美しい日本が本当に大好きです。どこに行っても、私は限りない美しさ、尊敬、価値、優しさ、愛を感じます。たくさんエネルギーをもらいます。どこにいても、人生は常に浮き沈みに満ちています。私たちは浮き沈みのある人生を楽しむべきであり、実際、その浮き沈みが人生をより素晴らしく興味深いものにします。そしてそれは私たちに人生の意味を考えさせるものです。

アフガニスタン人在住者増加の背景

千葉県に在留するアフガニスタン人は全国トップの1578人。そのうち四街道市が最も多く723人、佐倉市が587人と次ぐ。その理由としては、印旛地域では中古自動車関連が多く、親族・親戚で経営されている。成田空港に近く、土地が広がったことに加え、すでに多くの解体業者がいたことが理由とされている。

※令和3年12月末 千葉県住民基本台帳による外国人数

外国人のための生活相談

英語、スペイン語、中国語、各言語に対応できる相談員5名と事務局員で年間120件程度の面談、支援活動を行っています。主には、学校での保護者面談の通訳や病院、市役所への同行などの依頼があります。また、相談活動とは別に、相談員全員で毎月1回交流会議を開き、活動状況の共有と支援活動の向上のために、勉強会を実施しています。

現在はアフガニスタンに焦点を当てて、歴史、文化背景、医療、くらしや教育制度について知識を深めています。他にも「こほう佐倉」の情報を元に、外国人にも分かりやすい日本語で、「佐倉市のお知らせ やさしい日本語版」を毎月発行し、事務局や公共施設に置いています。お近くに平仮名が読める外国人がおられましたらお渡してください。



私たちが相談員です

左： 村瀬(事務局)・北原(英語)

中央： 清水(英語)・榎谷(中国語)

右： 青野(やさしい日本語編集)

深澤(スペイン語)・古澤(事務局)

電話、面談による相談を受け付けています。行政などの依頼を受けて、相談員と登録ボランティアが行政や他の外国人支援団体などと協力して、外国人に対する直接支援活動を実施しています。

スペイン語・英語・中国語 時間:10:00~16:00 場所:事務局 他

※事前の予約は、事務局まで(電話・FAX 043-484-6326 メール info@sief.jp)

イングリッシュサロン

ネイティブ外国人と英語で楽しくコミュニケーション

2012年にスタートしたイングリッシュサロンも、今年5月に11回目の開催を迎えました。

英語を話す方々の共通の悩みは、「折角覚えた英語を話す機会が無いので、忘れてしまいそう」というものでした。イングリッシュサロンは、そのような場を提供するため、外国人 Facilitator の協力を得て年間の限られた日数ですが、開催に取り組んでいます。開催日のサロンは、スクールとは異なる英語圏の雰囲気の中、予め提示されたトピックスについて、メンバーが英語で発表と質問に回答するスタイルを取っています。

上手な方は発音等、まだスキルアップ途中の方は Facilitator の手助けを得て、楽しみながら英会話上達に向け努力をしています。発表と質問の時間は限られますが、「自分の言葉で話す」そのような体験を重ねることで、外国人と英語で会話することが怖くなくなった、との声を聞くと嬉しくなります。年齢に関係なく、サロン開催が英会話を継続する動機づけに多少なりともなれば幸いです。

(イングリッシュサロン運営委員長 寺嶋 康美)



運営委員ボランティアの皆さんが発案し、サロンの雰囲気が伝わるように動画を作成しました。

SIEFのHPで公開中(イングリッシュサロンのページ「動画で見学」又は、右のQRから)



幼児からシニアまで参加できる 佐倉国際スピーチコンテスト開催決定

2023年10月22日(日)10時~16時

ミレニアムセンター佐倉

午前の部 幼児~小学生

午後の部 中学生~シニア

※募集人数 各部 先着20組



当コンテストは市内の子ども達に英語スピーチを通して、グローバルな視野を広げてもらいたいという願いから始まり、今年で34回目を迎えます。

昨年より CHANGE と CHANCE を合言葉に年齢の壁を取り払い幼児~シニアまで幅広い世代の方にご参加いただける、英語発表会としてバージョンアップしました。

スピーチの内容は自由。発表形式も自由。衣装や小道具の持ち込み可。友達、家族でのペア参加も可能です。皆様のご応募お待ちしております。

応募期間:8月21日(月)~9月8日(金)

応募受付:SIEFのHP「スピーチコンテスト」のページ 申込フォームより

共催:佐倉市 後援:佐倉市教育委員会
協賛:佐倉ライオンズクラブ
佐倉ロータリークラブ DIC 川村記念美術館

佐倉市国際文化大学 公開講座 一般の方も参加可能

佐倉市国際文化大学は年21回の講座を開講しています。各分野の第一線で活躍するプロフェッショナルな講師陣の講義を受講できると好評をいただき、今年度は106名の受講生が約半年間、仲間づくりもしながら、学習活動をされています。その一部に、より多くの市民の方にも気軽に参加いただけますように、無料の公開講座(右記)を用意しております。(それぞれ、2週間前よりホームページにて申し込みを受付開始)

また、ホームページでは過去の珠玉の講座の内容を講義録として公開していますので参考にしてください。

佐倉市国際文化大学ページ 文大アーカイブズ ⇒



9/16
(土)

13:30~15:30

ネパールって どんな国
ネパールと日本の絆を創る

講師：映画監督 ハテマロ会顧問
東京情報大学非常勤講師
伊藤 敏朗

会場： 佐倉ハーモニーホール

10/14
(土)

13:30~15:30

ロシアと中国の反米欧ー
世界は多極化の時代

講師：慶応義塾大学総合政策学部
教授 廣瀬 陽子

会場： 志津コミュニティーセンター

外国人のための日本語講座

佐倉市在住・在勤・在学で日本語を学びたい外国人のために、ボランティア講師による日本語講座を開講しています。市内6か所で計12クラスを開講しています。

【おとな向け 入門・初級・中級】

- ◆志津コミュニティーセンター 毎木曜日(午前・午後)
※木曜午後はベビーシッターによる子守り制度有
- ◆ミレニアムセンター佐倉 毎金曜日(夜)/隔週土曜日
- ◆佐倉中央公民館 毎日曜日(午前)

【小中学生向け AIUE さくら】

- ◆ 志津公民館 毎水曜日(夕方)
- ◆ 根郷公民館 毎土曜日(午前)
- ◆千代田・染井野ふれあいセンター 毎土曜日(午前)

日本語講師ボランティア募集

現在、約40名の市民ボランティアが日本語の指導者として活動しています。また、子育て中の女性外国人が参加しやすいように、隣室では6名のボランティアが交代で、ベビーシッターとしてお子様を預かっています。

日本語講座にはアフガニスタン人をはじめ、バレー、中国、ネパール、フィリピンなど、20か国、100人以上の外国人が参加しており、クラスはマンツーマンや少人数グループに分かれ、実生活に使う日本語を中心に熱心に学んでいます。

日本語講座のボランティア登録には、日本語教師の資格や経験がなくても大丈夫です。子どもから大人まで、日本語を教えることに、ご興味がある方は事務局までお問い合わせください。

ご案内

◇国立歴史民俗博物館

【企画展示】

「陰陽師とは何者かーうらない、まじない、こよみをつくるー」
2023年10月3日(火)~12月10日(日)

【第1展示室特集展示】

「北の大地が育んだ古代ーオホーツク文化と擦文文化ー」
2023年11月14日(火)~2024年2月12日(月・休)

【第3展示室特集展示】

「江戸の妖怪絵巻」
2023年8月1日(火)~9月3日(日)

【第4展示室特集展示】

「四国遍路・文化遺産へのみちゆき」
2023年9月26日(火)~2024年2月25日(日)

【くらしの植物苑特別企画】

「伝統の朝顔」
2023年8月9日(水)~9月10日(日)

「伝統の古典菊」
2023年10月31日(火)~11月26日(日)

*開館時間・休館日等、最新情報はホームページ等でご確認ください。
れきはくホームページ <https://www.rekihaku.ac.jp>

◇DIC川村記念美術館

「ジョゼフ・アルバースの授業」

期 間：2023年7月29日(土) - 11月5日(日)

開館時間：9:30 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日：月曜日

(ただし9月18日、10月9日は開館、翌平日休館)



*最新情報はDIC川村記念美術館HPでご確認ください。

ホームページ <https://kawamura-museum.dic.co.jp>

佐倉国際交流基金 代表理事交代のご挨拶

佐倉国際交流基金支援者、関係者の皆様長い間大変お世話になりました。

思い起こせば 2011 年の公益法人認定と同時に着任いたし、各種制度の整備、規則の制定に取り組みました。外国人との交流事業や 30 周年記念行事を、またコロナ禍の中での運営と、多くの課題や業務を代表理事として皆様に支えられて、最後まで職をまっとう出来ました事、心よりお礼申し上げます。これからも佐倉国際交流基金へのご支援をよろしくお願い申し上げます。皆様のますますのご健勝とご発展を祈念申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。

2023 年 6 月 宍倉 昌男

このたび佐倉国際交流基金 代表理事に就任することになりました。この重責を担うことができることを大変光栄に思います。公益財団法人 佐倉国際交流基金はその名の通り社会貢献を目指した事業を行うと共に、外国人との協働、共生を重視しております。共に学び、異文化理解を深めるための活動は協働、共生の基礎となります。

私は、これまで、長年教育分野に携わり、異文化相互理解の重要性を痛感してまいりました。その経験を生かし、私たちが目指す協働の地域社会を、さらに推進してゆく所存です。

今後とも、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

2023 年 6 月 東城 孝

第 4 回 日本語講座のつどい 開催決定

賛助会員ご紹介

日本語講座に参加している外国人受講生が舞台に立ち、日頃の学習成果の発表の場としてスピーチをしたり、ダンスや歌などのパフォーマンスを披露します。受講生・ボランティア講師の方だけではなく、一般の方にも国際交流の場として、ご参加いただけるように準備しています。

(コロナ等の感染症予防のため、人数を制限する場合があります。)

日時: 11月26日(日)13:00~16:00(予定)

場所: 佐倉市立中央公民館 大ホール



事業・収支報告

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 国際相互理解推進事業 | 3 外国人支援事業 |
| ○公開講演会 | ○外国人のための日本語講座 |
| ○佐倉市国際文化大学 | ○外国人のための生活相談 |
| ○佐倉国際スピーチコンテスト | 4 その他附帯事業 |
| ○イングリッシュサロン | ○国際交流ボランティア活動 |
| 2 国際交流活動支援事業 | ○後援事業 |
| ○国際交流団体へ助成 | ○国際交流活動等情報提供 |

当基金は運営ボランティアの皆様と賛助会員様のご理解とご協力の元に運営しております。

ご支援賜り厚くお礼申し上げます。

心より感謝致します。

◇2022 年度決算のあらまし (佐倉市よりの受託事業を含む)

収入の部

基本財産運用収入 2,954,014
会費収入 527,000
事業収入 5,497,400
雑収入 8,027
寄附金 他 40,133
経常収益計 9,026,574

支出の部

事業費 7,766,475
管理費 1,367,575
経常費用計 9,134,050
当期一般正味財産増減額 △107,476

公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局 (SIEF) 関口・村瀬・古澤

〒285-0025 佐倉市鍋木町 198 番地 2 レインボープラザ佐倉 2F

電話・Fax 043-484-6326 (月~金 9:00~17:00) HP: <http://www.sief.jp> Email: info@sief.jp